

ホドモチるの事無うなれませう」

青「然し十三中のお集しで、お首のさへも言出し、お節もさへお集り、  
さへお集りなると申さる？」

松「さへお集りなると申さる。一拜お集りなると申さる。お集りなると申さる。  
お集りなると申さる」

青「お集りなると申さる。お集りなると申さる。お集りなると申さる。  
お集りなると申さる」

松「お集りなると申さる。お集りなると申さる。お集りなると申さる。  
お集りなると申さる」

青「お集りなると申さる。お集りなると申さる。お集りなると申さる。  
お集りなると申さる」

松「お集りなると申さる。お集りなると申さる。お集りなると申さる。  
お集りなると申さる」

青「お集りなると申さる。お集りなると申さる。お集りなると申さる。  
お集りなると申さる」

財団法人協同會大阪支所

松「解雇はしないと云つた然しそれと同時に勉強する様に怠けぬ様  
にと毎時も云つた、配布した書類も澤山ある」(パンフレット  
を取寄せ朗讀す)

青「それはよく聞いて居ります然し組合員は多くやられて居ます」  
松「その名前を云ひ給へ」

青「名前は云はぬでも事實上そうてお解雇せず何故解雇せしめるの  
です」

松「本人の願に依りとする方が將來の爲めだと考へたからだ」  
平「私は始め解雇は嫌だと云つたらそれで他の係に廻すから若し

少しても落度があれば直ぐ首にすると云つて終日監督付きて什  
事をして居ますそれで會社の都合で解雇にして呉れと云つても

呉れないのです」  
松「よろしい解雇しやう」

青「解雇の方が手當が少なくてよいから解雇にしないのでせう」